

# よりそう



## ボランティア活動の基本

斎藤さんは23日大船渡・陸前高田・遠野研修ツアー往路のバスでこういう話をされました。

最初、私は高田のカレキの原地をひとりで歩いていた。そこで現地の人のために自分に何かできるのか、何をしたらよいかを模索してきた。(ある程度)

今、あなたたちは「遠野まごころネット」の雇用者としてこの研修ツアーに参加している。ここで改めて「今、自分は何をしているのか？」を問うていただきたいと思います。

まごころネットは雇用、非雇用を問わず、基本にはボランティア活動団体です。そして、この活動に参加する基本は自分を問いつづけるということです。

ボランティアに携わろうとした原点が果たして今の自分にあるのか、と常に自分に問うてほしい。そして自分の立場を見つけ、自分と周りの関係で自分の仕事を見つけていただきたいと思います。

## Tさんにインタビュー

夜の宿泊棟、釜石でハード作業を続けているH.Oさんからこんな話を聞きました。震災後1年以上経ち、こちら

はソフトの活動がより重視されてくるだろう。自分もハードの合い間、現場に残ったすいせんの球根を移植、こちらには花の種まきをやろうとしている。

彼ら大槌町赤坂の花壇づくりに関わっているTさんの話を伺いました。

同じ部屋にいたTさんのインタビュー。

千葉の中学校美術科教員、退職後美術館の花壇の仕事。花巻工沢のアートイベント等を行う。インターネットで「まごころ」を知り、訪れた。今回で7回目のまごころ参加となる。

自分は(元)ボランティアは有償の基本だと思う。日本はボランティアに対する考えが整備できていない。いい加減な場合もある。有償があって、無償も存在するのだと思う。

中越地震の復興していく過程で心のケアが注目された。被害者の支援を考えると、文化的なものもないと生きていけないと思う。そういう思いをこめて花壇づくりに取り組んでいる。自分の仕事はN社、K社等に引きつづけている。

## スタッフ紹介

- 1. 田沼栄美。2. お身 啓(遠野)。
- 3. ボランティア参加は初めて。4. 今日までで3か月経過。5. 皆んなのひとこと、遠くから来ていただいた方への感謝。